

内視鏡外科手術の手術動画データベースを用いた手術関連情報に関する解析研究

1. 研究の対象

2009年4月1日から2021年12月31日までに内視鏡外科手術を施行され、「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」に参加された方を対象としています。

2. 研究目的・方法

人口の少子高齢化は我が国のみならず、世界各国の共通課題であり、今後半世紀で高齢化が急速に進展すると推計されています。厚生労働省患者調査によると、2025年には手術件数が1.3倍に増加すると予測されています。今後国内外において、手術を必要とする高齢の患者さんが増加する時代を迎えることは想像に難くないです。

近年、患者さんの身体に負担の少ない内視鏡外科手術の実施件数が年々増加しています。しかしながら、内視鏡外科手術は高度な技能が要求されるため、施設間や術者間の治療成績に格差があることが報告されています。また、日本全体の外科医数は減少傾向にあり、厚生労働省からの報告では2024年に外科医が約6000人不足すると予測されています。今後は少ない外科医で人口の高齢化とともに増加する内視鏡外科手術に対応せざるを得ない状況は避けがたいと考えられます。

このように「内視鏡外科手術の均てん化」及び「外科医不足」は外科診療における喫緊の課題であり、その解決手段の一つとして、情報支援内視鏡外科手術システムの開発が挙げられます。私たちは、「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」において、将来の手術支援機器や手術手技評価システムの開発を視野に入れたデータベースを構築しました。今回、このデータベースを利用し、将来の手術支援機器や手術手技評価システムの臨床導入に向けた画像認識等の要素技術を研究し構築することを目的として、本研究を立案しました。

研究実施期間：研究許可日から2030年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：①手術動画、②術前情報（術前胸腹・腹部・骨盤MRI画像およびCT画像）、③術者情報（術者人数、日本内視鏡外科学会技術認定取得の有無等）、④患者情報（年齢、性別、身長体重、既往歴、開腹手術歴、手術時間、出血量等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111 内線：91823

E-mail：hirhaseg@east.ncc.go.jp

所属：国立がん研究センター NEXT 医療機器開発センター 手術機器開発室

国立がん研究センター東病院 大腸外科

氏名：竹下 修由

研究責任者：

国立がん研究センター NEXT 医療機器開発センター 手術機器開発室

国立がん研究センター東病院 大腸外科

伊藤 雅昭